

たまちゃん通信

平成 30 年 10 月発行 104-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

ポイ捨てのない美しいまち

『北村義雄ヤップ通信』第 3 回

ヤップ州のまちの美しさの理由の一つに、日本では当たり前レジ袋がないことではないでしょうか。首都のあるポンペイ州ではレジ袋がありましたが、このヤップ州ではありません。そのことからしてもヤップはきれいです。



最近の日本のニュースを見ているとレジ袋の有料化を国として取組むことが取り上げられていました。

これは、レジ袋やプラスチックゴミによる海洋汚染が深刻になっており、それを抑制させるために規制をかけようとするものです。プラスチックゴミを少なくしようとする動きは、世界的な



取組みにもなっていますが、そのことをすでにヤップ州では実践していたのです。

JICA(国際協力機構)で、この州に派遣されなければ分からないことでした。



また、レジ袋のみならず空き缶のポイ捨てもほとんどありません。ヤップの海岸を歩いていても、ほぼゴミはなく漂着もありません。産業の少ない州ですので海に排出される工場排水もほとんどなく、公共下水道も整備されていますので、島周辺の海はどこもきれいです。

さらに雨期のこの時期、毎日 1 時間程度土砂降りの雨が 2 回ほど降るのですが、これもまちを美しくしてくれているのではと思います。

ヤップ島では、自宅前の公道部分について、定期的に清掃や芝刈りを行う決まりがあり、それも美しい理由かと思えます。しかし、その決まりがなくても、きれいにしようとする心構えが根付いていると思えます。

写真の道路(右)は、日本の援助でできたものですが、今でも手入れが行き届いています。

日本でも、空き缶やレジ袋のポイ捨てがなくなれば、もっときれいな町になり、環境的にもやさしく、将来の子どもたちに美しい日本を引き継ぐこととなります。

ヤップの人から「日本はきれいなまちでしょう」と聞かれることが多いのですが、「はいそうです」と胸を張って言える、そんな日本でありたいです。



(写真：ポイ捨てがなく、道路も、まちも、海も美しいまちヤップ州)